

1 市民アンケート実施結果

(1) アンケートの概要

項目	内容
目的	第5次一般廃棄物処理基本計画策定に向けた市民意見の把握
調査対象	名古屋市内に居住する20歳以上の市民 2,000 人 (外国人含む)
抽出方法	住民基本台帳及び外国人登録原票から無作為抽出
調査期間	平成27年6月24日(水)～平成27年7月8日(水)
調査方法	郵送による配布・回収
回収状況	配布数 2,000人 有効回収数 916人 有効回収率45.8%

(2) 標本構成

性別

男性

190人

女性

721人

不明5人

年齢

20代

51人

30代

115人

40代

161人

50代

174人

60代

204人

70代

174人

80才以上

34人

不明3人

世帯人数

1人

109人

2人

317人

3人

225人

4人

165人

5人

63人

7人以上

7人

6人

27人

不明3人

居住形態

戸建住宅

483人

集合住宅

428人

不明5人

居住年数

1年未満

20人

1年以上5年未満

121人

5年以上

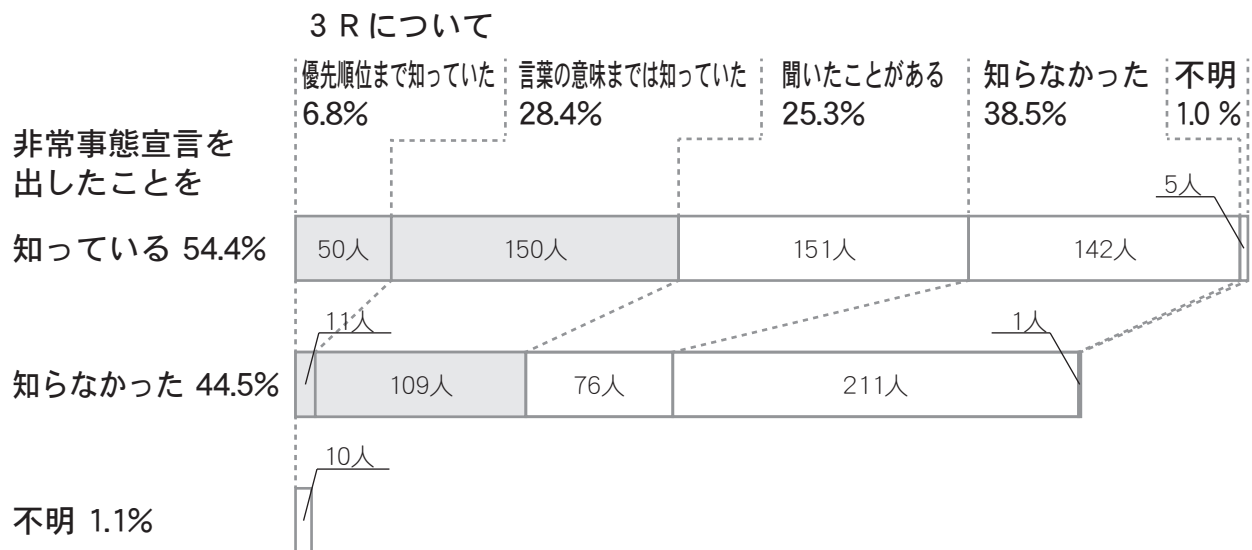
769人

不明6人

(3) アンケート実施結果（抜粋）

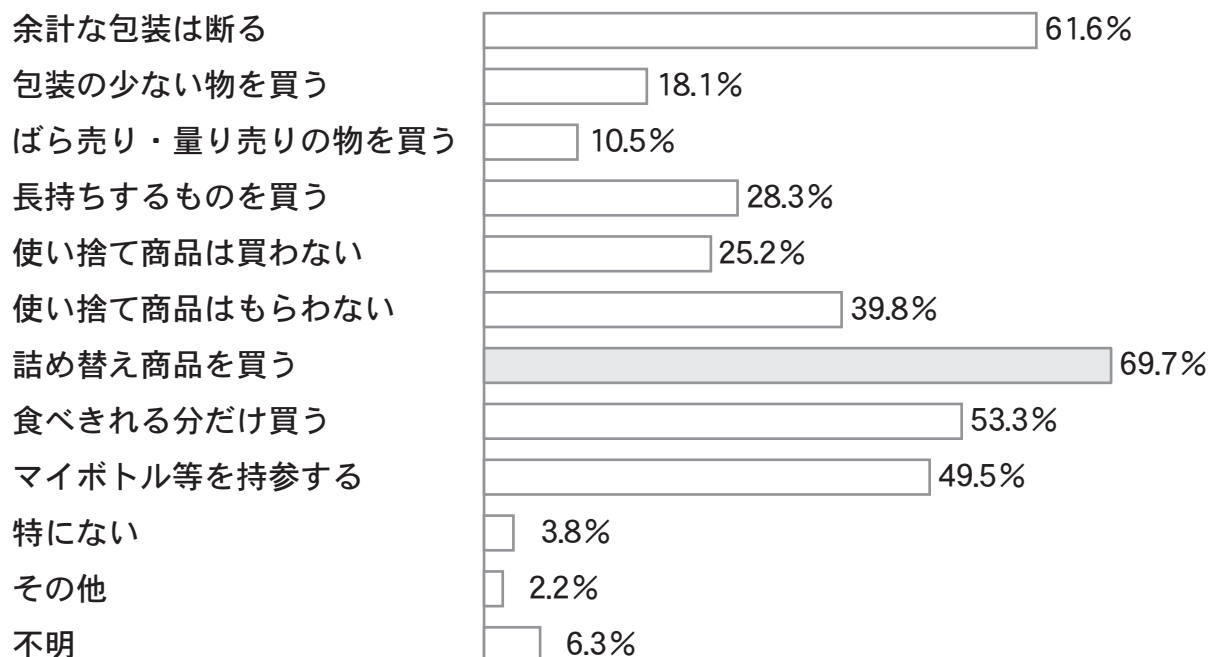
①ごみ非常事態宣言と3Rについて N=916

- 名古屋市が平成11年2月に「ごみ非常事態宣言」を出したことを知っていますか。
(当てはまるもの1つに○)
- 3R（スリーアール）という言葉を知っていますか。
(当てはまるもの1つに○)



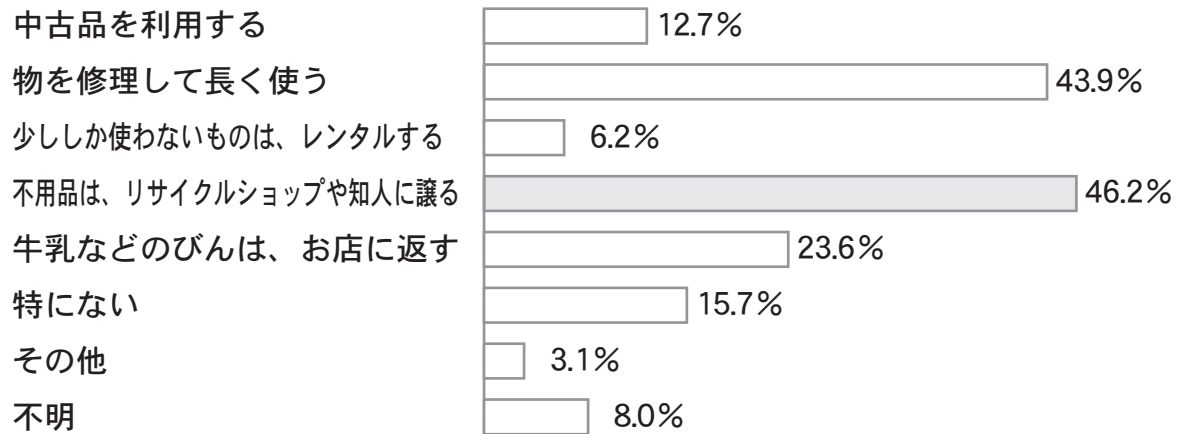
②発生抑制の実践について N=916

- ごみが発生しないように、あなたが日ごろから実践していることは何ですか。
(当てはまるものすべてに○)

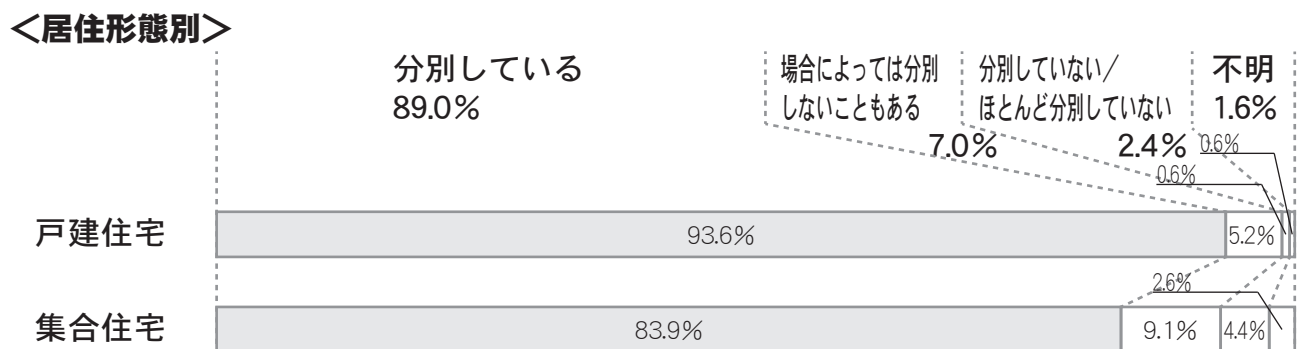
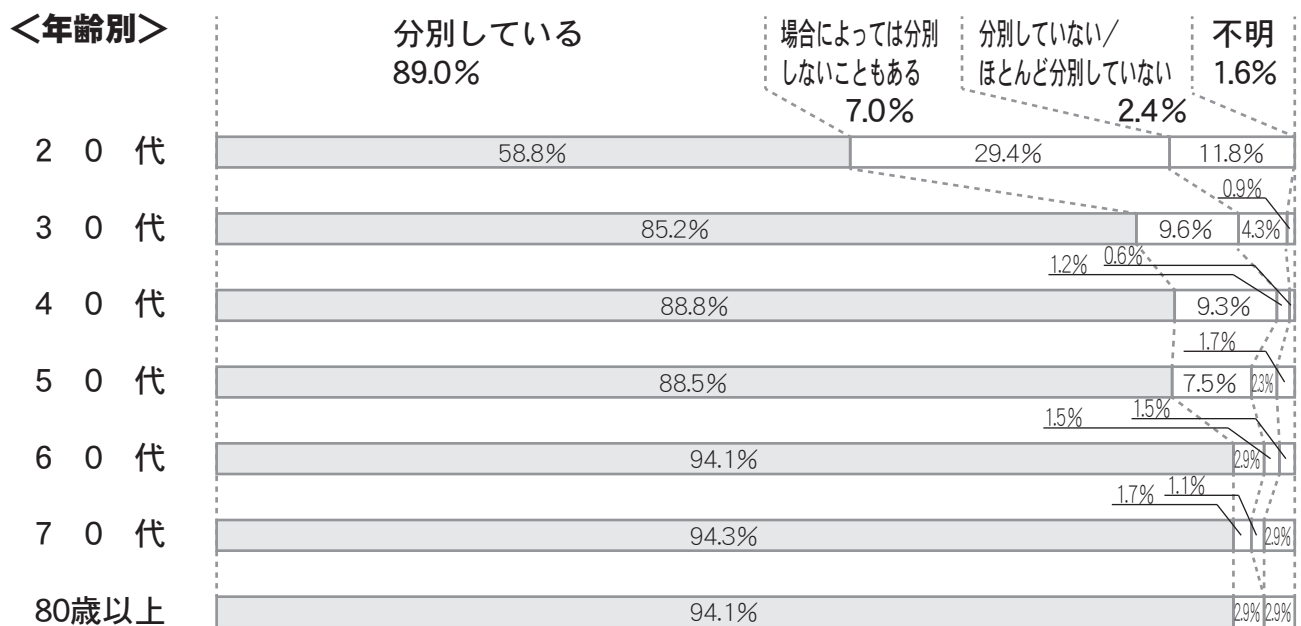


③再利用の実践について N=916

■物の再利用という点で、あなたが日ごろから実践していることは何ですか。
(当てはまるものすべてに○)

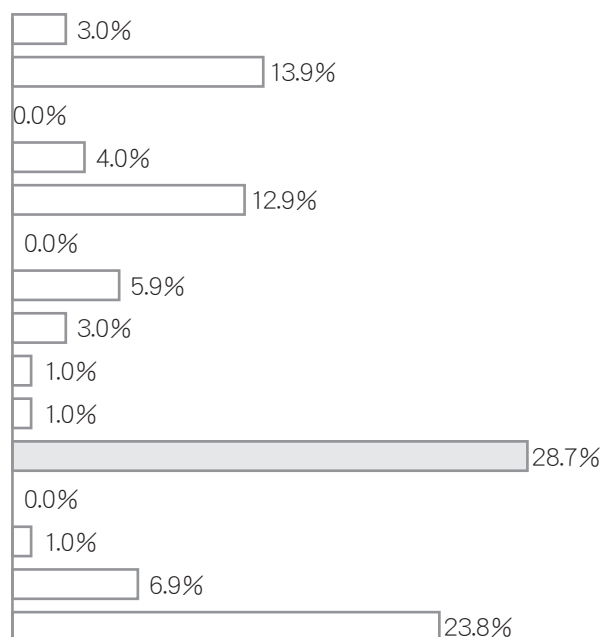


④プラスチック製容器包装の分別状況について N=916



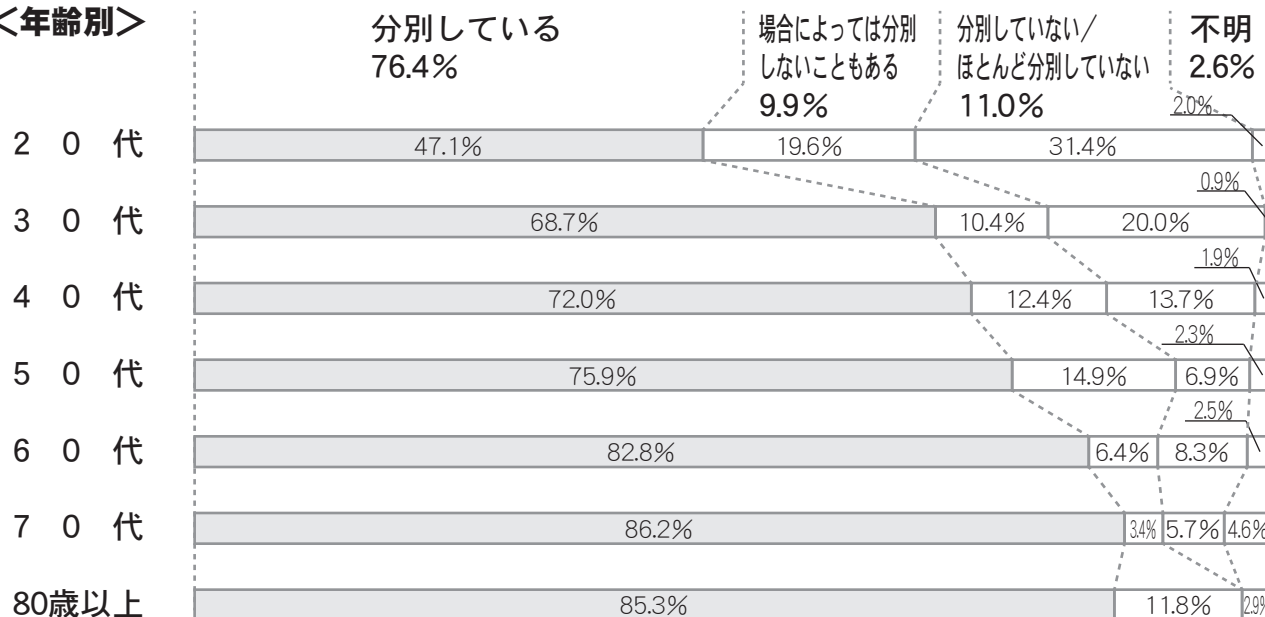
＜分別が難しい理由＞ N=101

分別することを知らなかった
 分別の基準が分からない
 収集日・場所が分からない
 保管場所がない／回収頻度が少ない
 分別して排出するほど、量が出ない
 個人情報に気になる
 燃える素材だから
 分別する理由が分からない
 分別して出す時間がない
 周りの人も分別していない
 汚れを取る手が手間
 ひもで縛ったり、袋に入れるのが手間
 集積場所まで持っていくのが手間
 その他
 不明

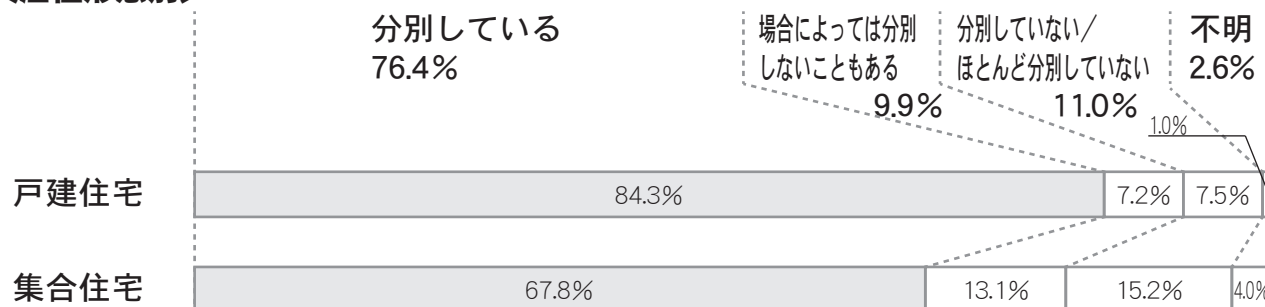


⑤紙製容器包装の分別状況について N=916

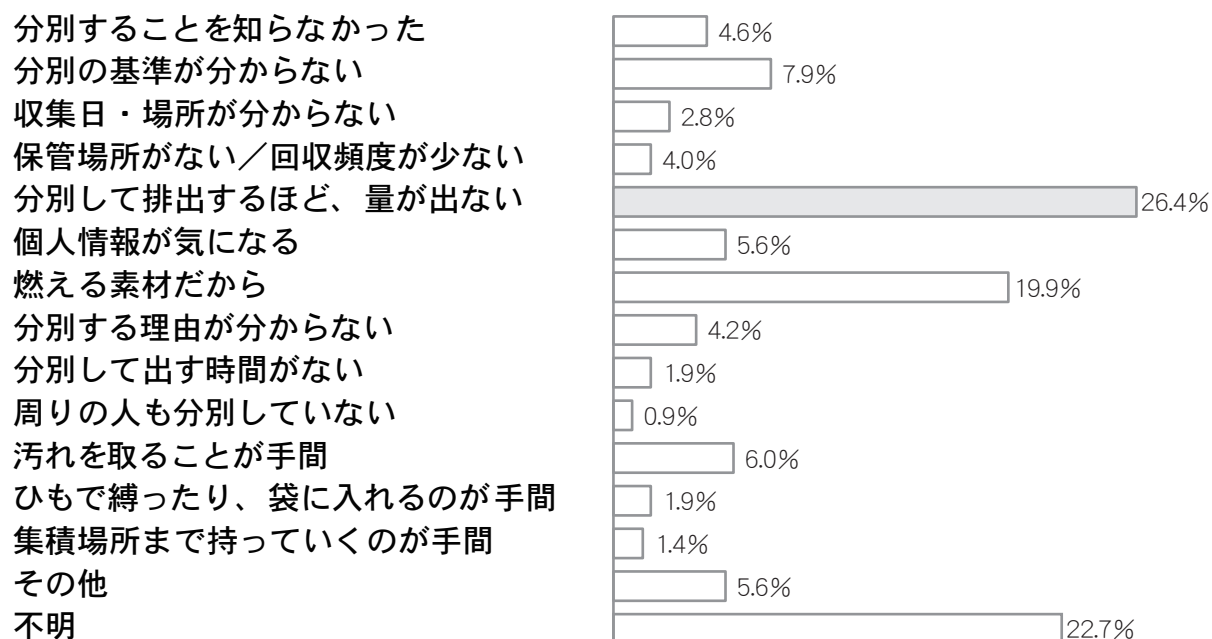
＜年齢別＞



＜居住形態別＞

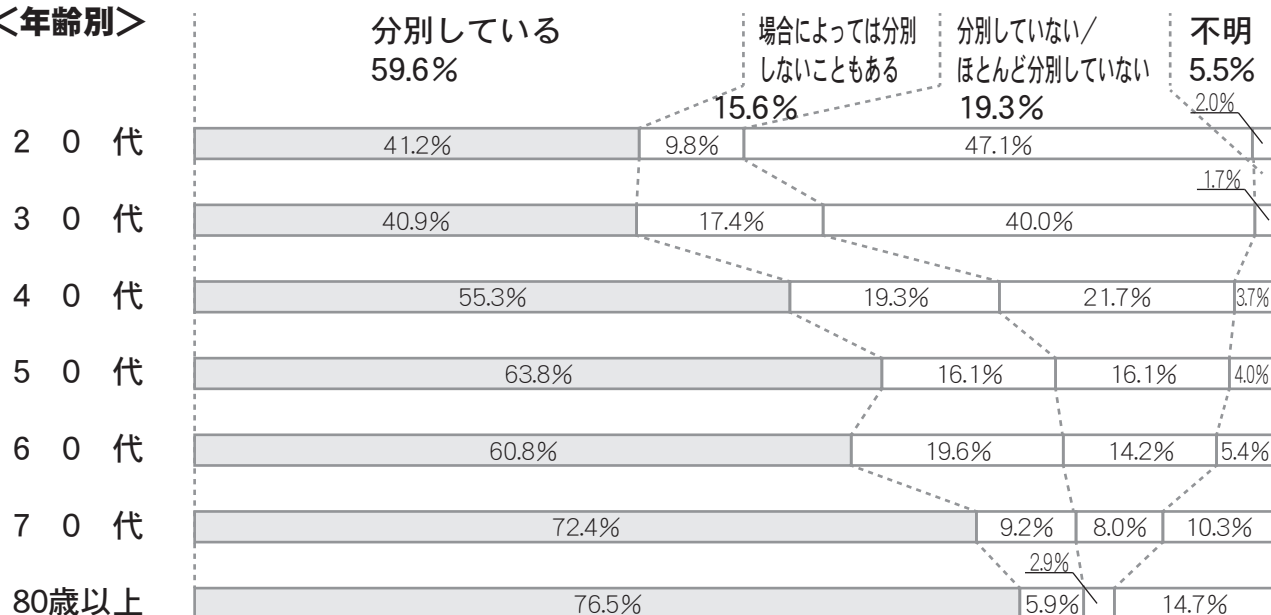


＜分別が難しい理由＞ N=216

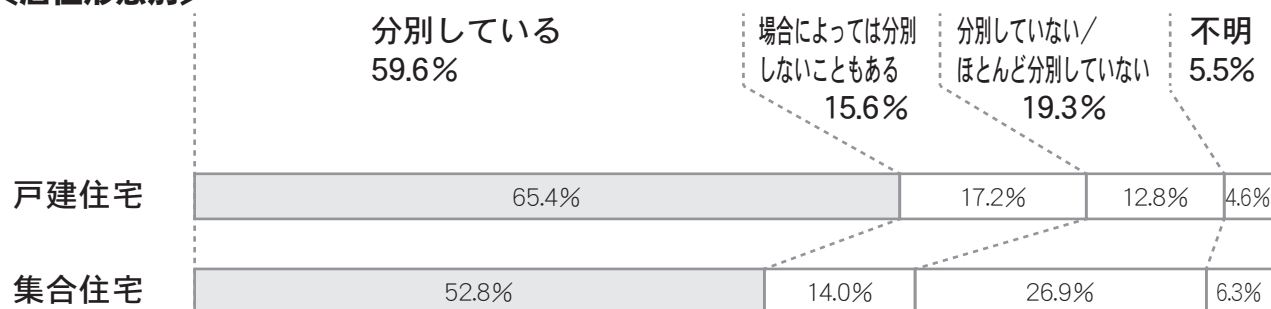


⑥古着・古布の分別状況について N=916

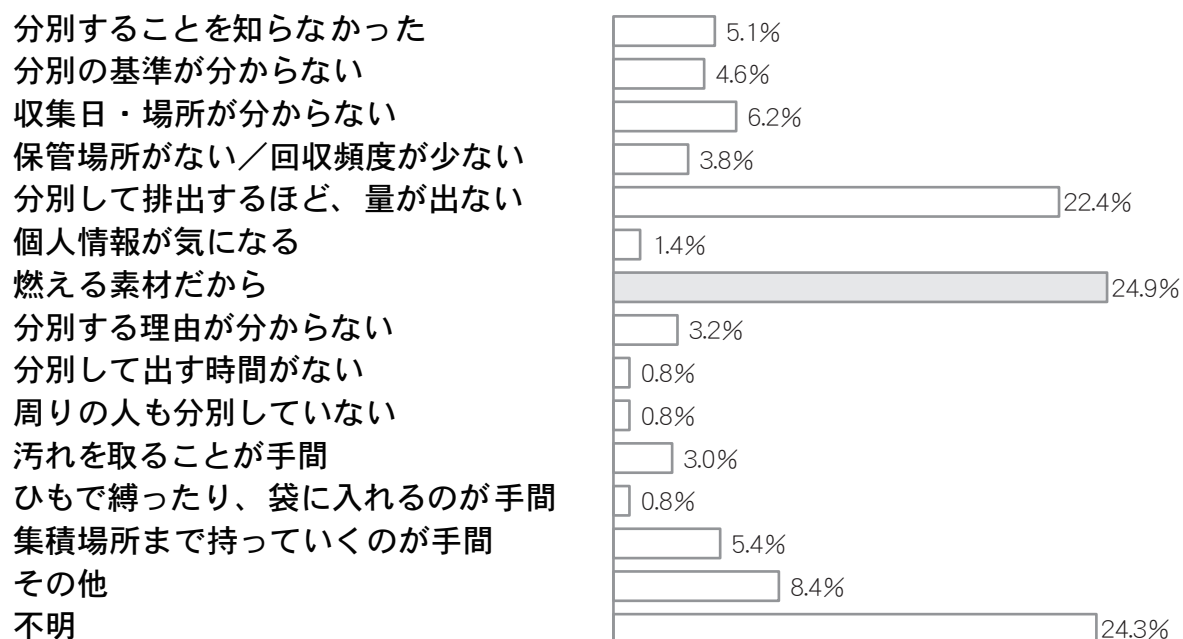
＜年齢別＞



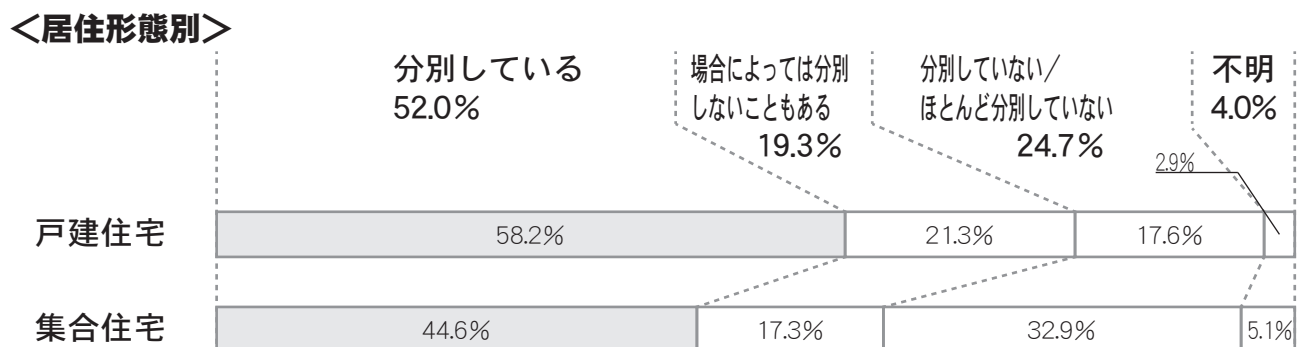
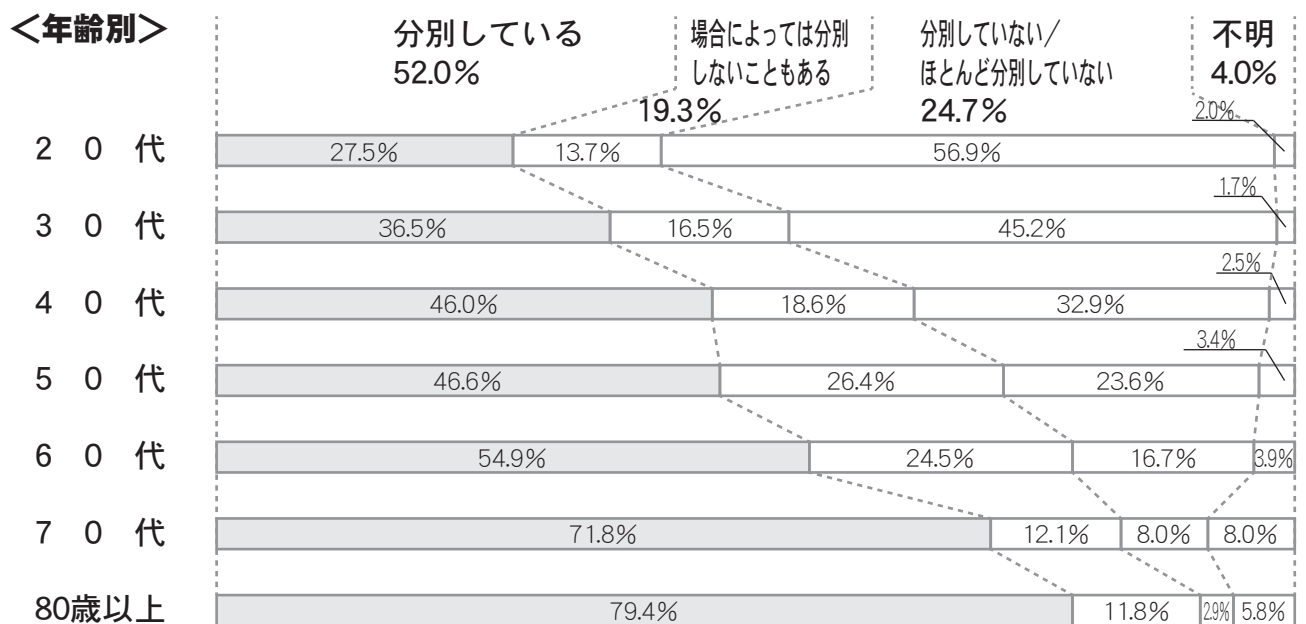
＜居住形態別＞



＜分別が難しい理由＞ N=370

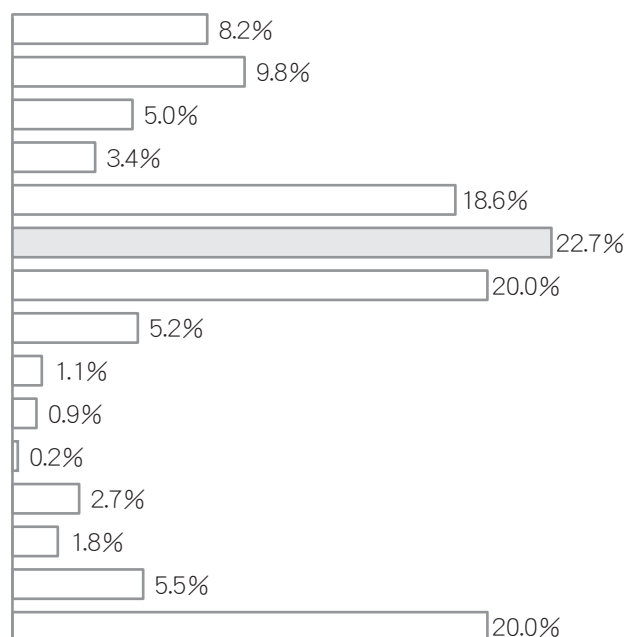


⑦雑がみの分別状況について N=916



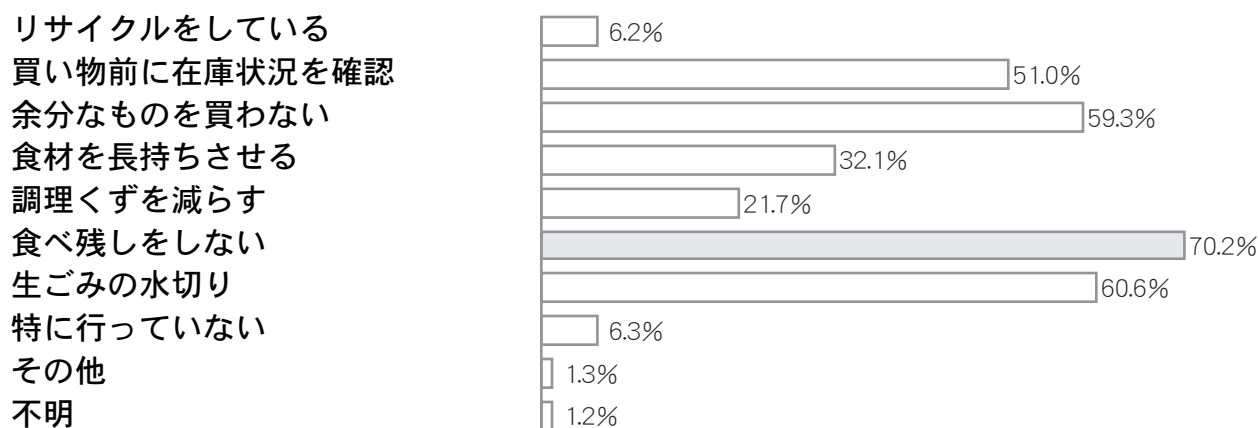
＜分別が難しい理由＞ N=440

分別することを知らなかった
 分別の基準が分からない
 収集日・場所が分からない
 保管場所がない／回収頻度が少ない
 分別して排出するほど、量が出ない
 個人情報に気になる
 燃える素材だから
 分別する理由が分からない
 分別して出す時間がない
 周りの人も分別していない
 汚れを取る手が手間
 ひもで縛ったり、袋に入れるのが手間
 集積場所まで持っていくのが手間
 その他
 不明

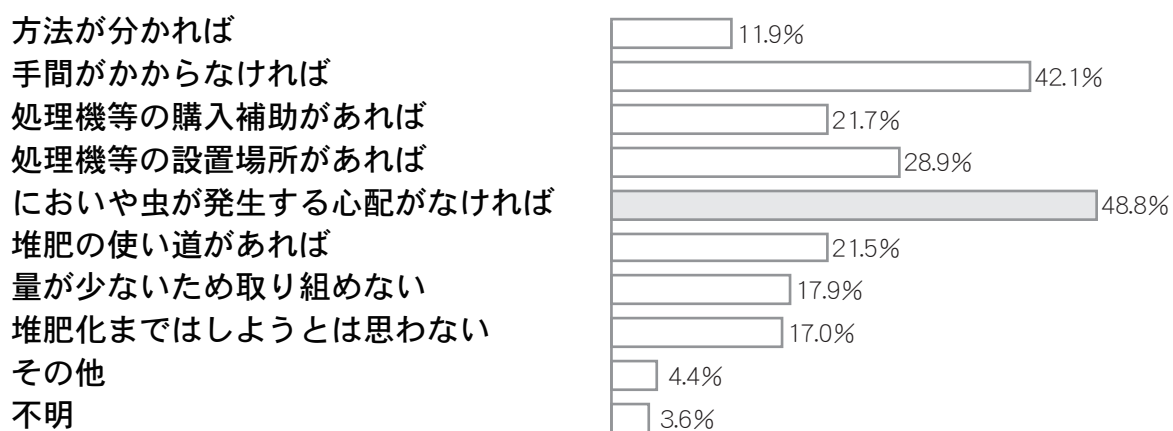


⑧生ごみについて N=916

■生ごみを減らすために何か工夫をしていますか。(当てはまるものすべてに○)

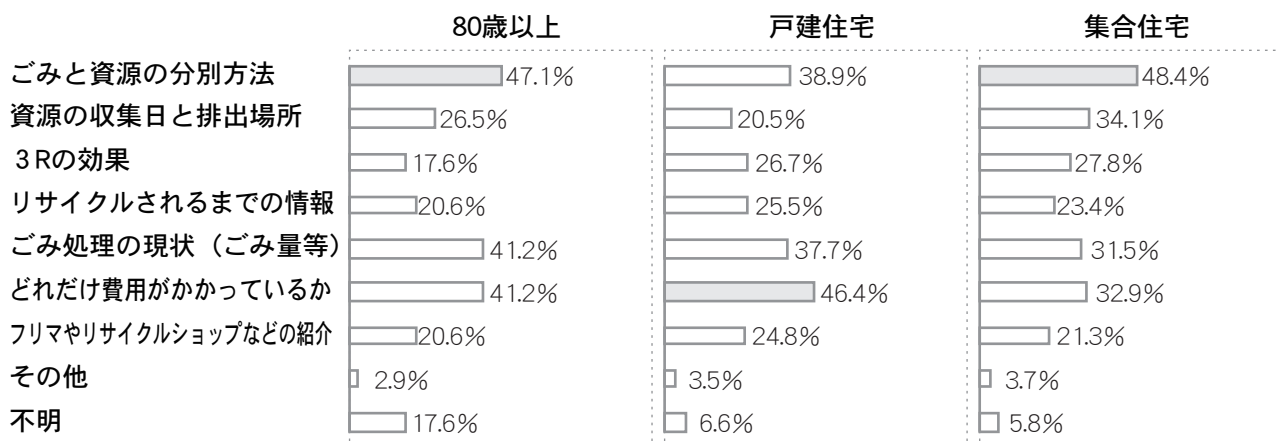
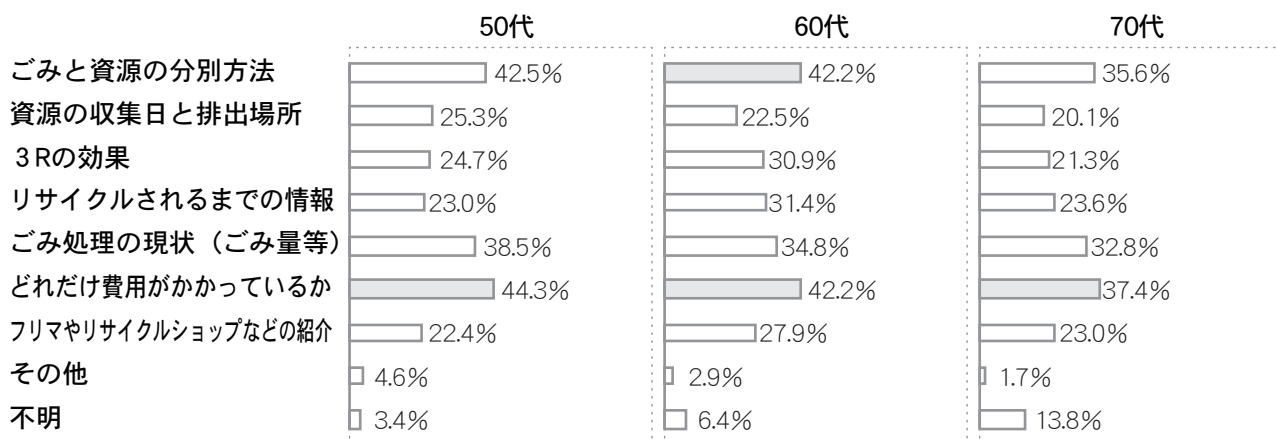
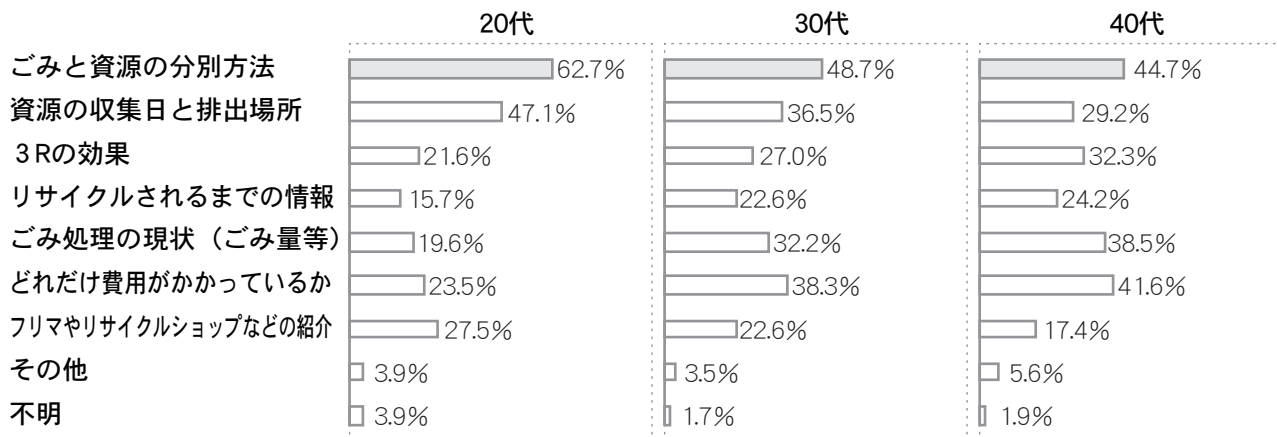


■生ごみは、堆肥にリサイクルすることが可能です。どのような条件が整えば取り組みもうと思いますか。(重要だと思われるもの3つまで○)

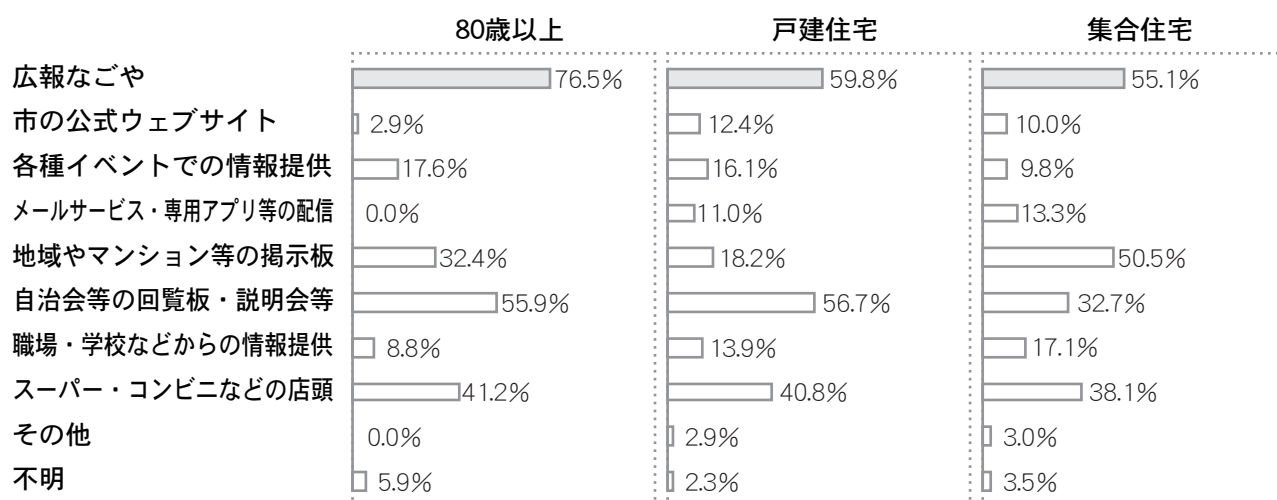
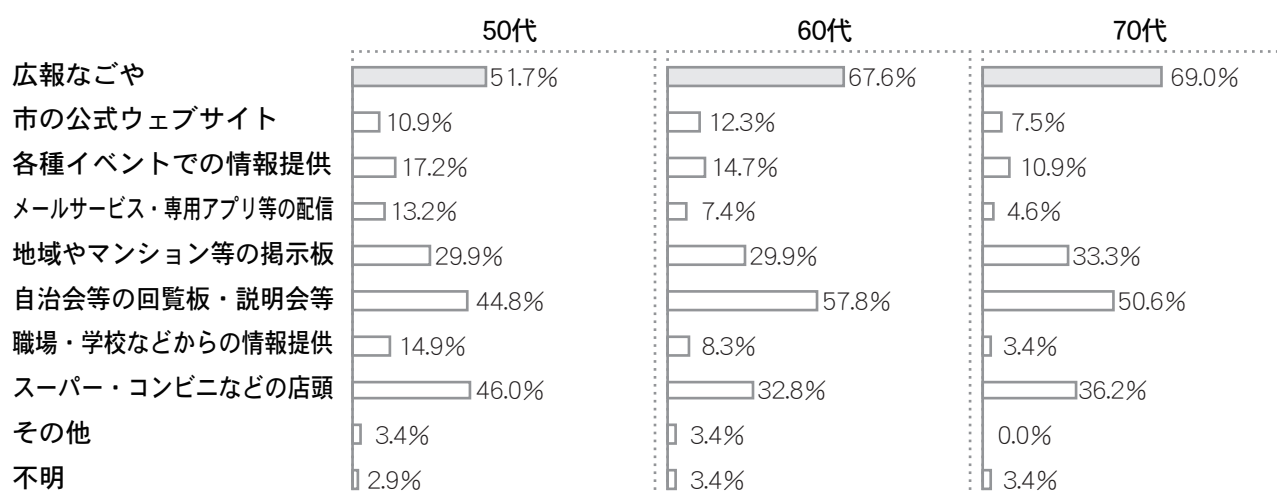
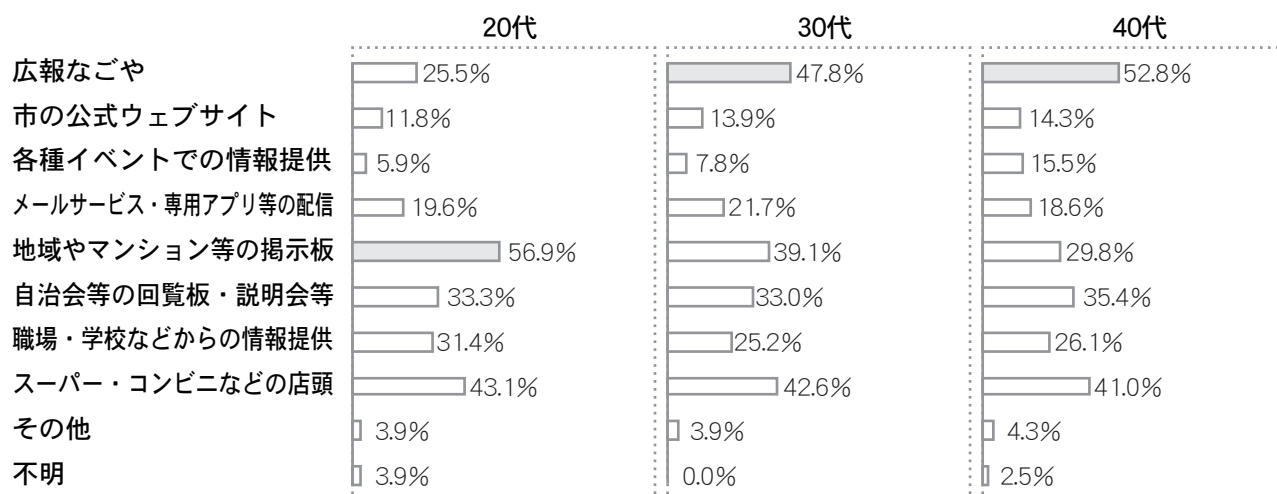


⑨市から提供される情報について N=916

■どのような情報があれば、ごみの減量・分別に取り組みやすい、あるいは取り組もうと思いますか。（重要だと思うものを3つまで○）

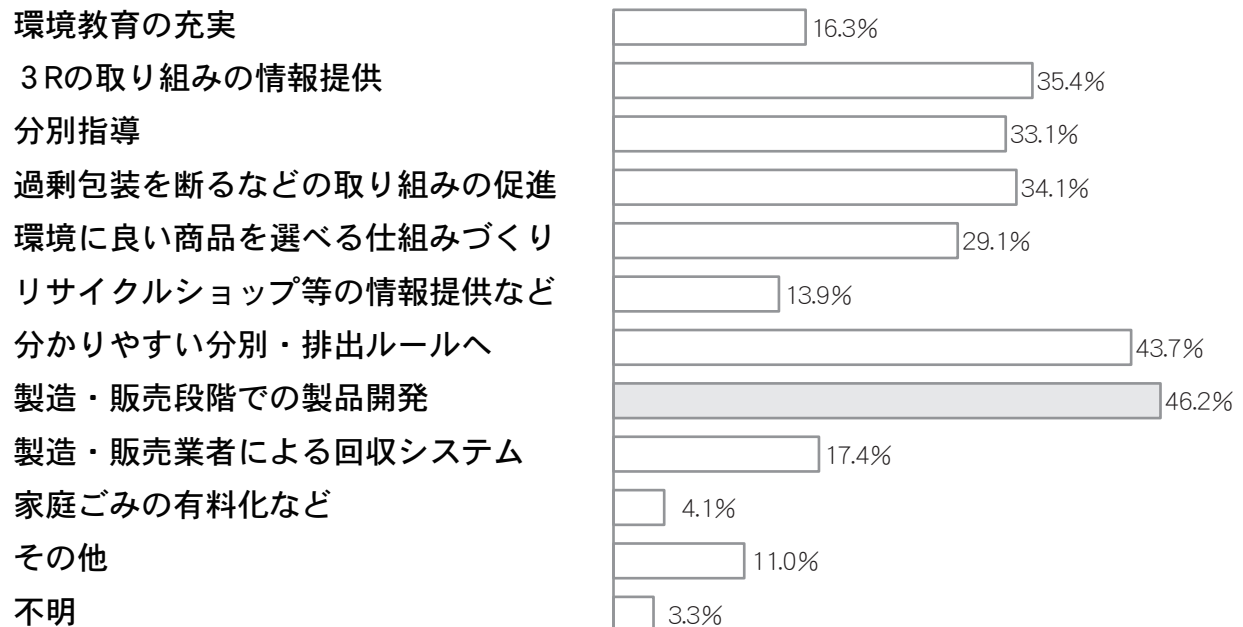


■ごみを減量、分別するに当たり、どのような情報源が充実するとよいと思いますか。（重要だと思うものを3つまで○）



⑩ごみを減らす取り組みについて N=916

■今後、さらにごみを減らすために、どのような取り組みが重要だと思いますか。
(1～11の中から重要だと思うものを3つまで○)



2 保健環境委員アンケート実施結果

(1) アンケートの概要

項 目	内 容
目 的	第5次一般廃棄物処理基本計画策定に向けた保健環境委員意見の把握
調 査 対 象	各学区保健環境委員会会長
調 査 期 間	平成27年6月～平成27年7月
調 査 方 法	保健委員会による配布、郵送等による回収
回 収 状 況	配布数 266人 有効回収数 244人

(2) アンケート実施結果

①ごみを減らすための取り組みについて N=244

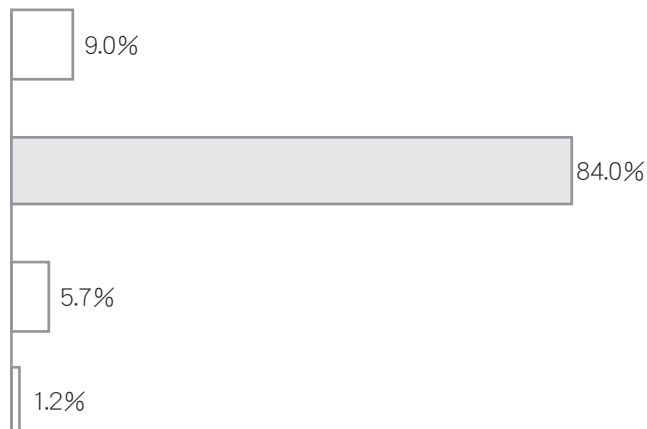
■「ごみ非常事態宣言」以降、本市が取り組んできた、ごみを減らすための取り組みについて、あなたはどのようにお考えですか。（お考えに最も近いもの1つに○をつけてください）

市民の協力により継続して
成果が上がっている

大きな成果を上げたが、最近では市民の
ごみ問題への関心が薄れてきており、
もう一度ごみ減量の意義を訴えていく
必要がある

まだまだ不十分である

わからない



■これまでの地域におけるごみの減量、分別・リサイクルの取り組みの中で、苦勞されていることなどをお聞かせください。（主なものに3つまで○をつけてください）

資源集積場所における住民への指導

分別が出来ていないごみ・資源の分別し直し

排出マナーに対する指導

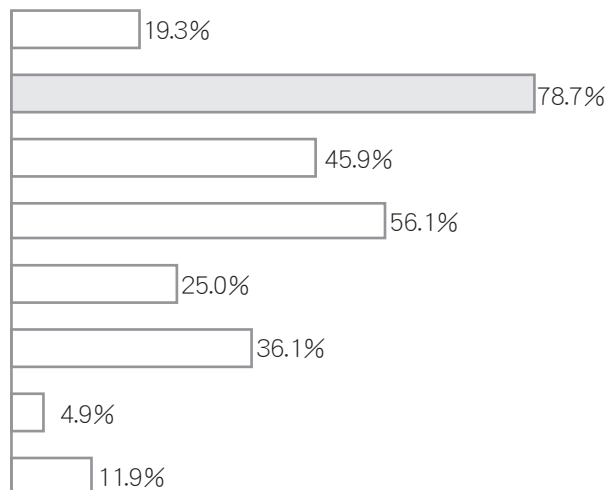
収集時間外に出されたごみ・資源の片づけ

共同住宅における住民への指導

カラスによるごみ散乱防止の対策

集団資源回収の実施

その他

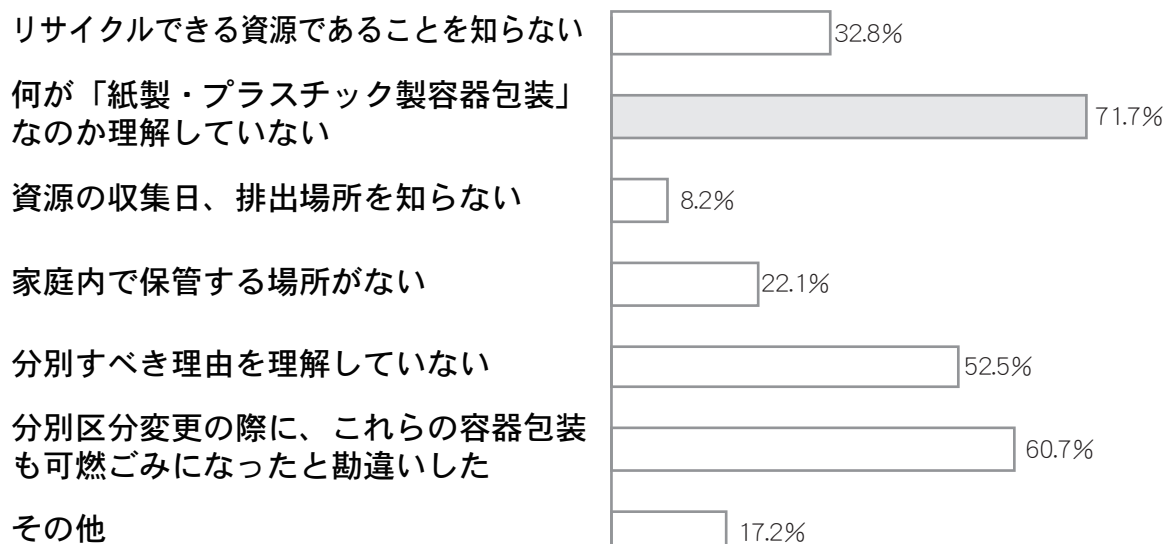


<その他の主な意見>

- ・ 資源ステーションへのごみ、プラ容器の持ち込み、不法投棄。
- ・ 資源ステーションでの分別のし直し（特にびん・缶の飲み残し、異物混入）。
- ・ 指導に対する無視・反発。
- ・ 粗大ごみの不法投棄。
- ・ 外国人に対する指導。

②分別について N=244

■市が収集している資源の中で、最近、特にプラスチック製・紙製容器包装がごみとして出される割合が多くなっていることについてお聞きします。分別率が低下している（ごみへの混入が多くなっている）ことについて、どのようなことが原因と考えられますか。（考えに近いものに3つまで○をつけてください）



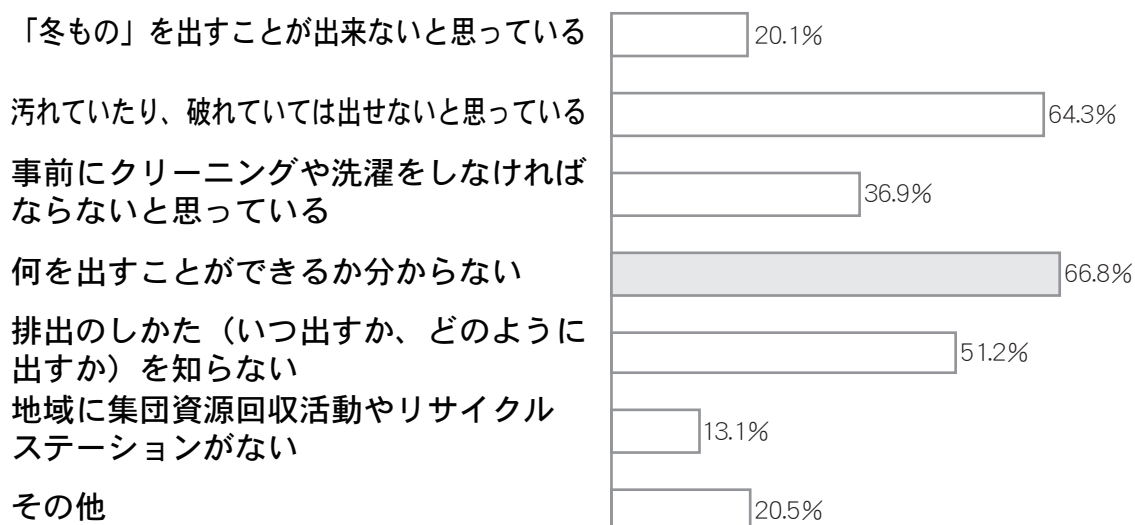
＜その他の主な意見＞

- ・分別が面倒だと感じる人が多くなった。
- ・高齢者が細かい分別が理解できない。
- ・マンション管理会社から入居者への説明が不十分である。
- ・理解しようと努力するのではなく、思い込みだけで排出する。
- ・資源の品目ごとの指定袋があった方がよい。
- ・プラ・不燃・可燃ごみ全て入っていても収集される。
もう一度厳しくシールを貼るなどして取り残してもよいと思う。
- ・分別方法がよく変更されるから、どちらでもいいとってしまう。
- ・容器によってきれいに洗いにくいものは可燃で出す方が処理しやすい。

③古着・古布の資源化について N=244

■「古着・古布」は、「古布」のうち布団や座布団など中に「わた」が詰まっているもの以外は資源化できるため、何でも集団資源回収やリサイクルステーションなどにお出しいただけます。

しかしながら、古着・古布は排出量全体の約 1 割しか資源化されておらず、市民の皆さんにご理解いただけていない点が、まだまだ多いのではないかと考えていますが、このことについて、どのようなことが原因であると思われますか。（原因であると思われるもの全てに○をつけてください。）

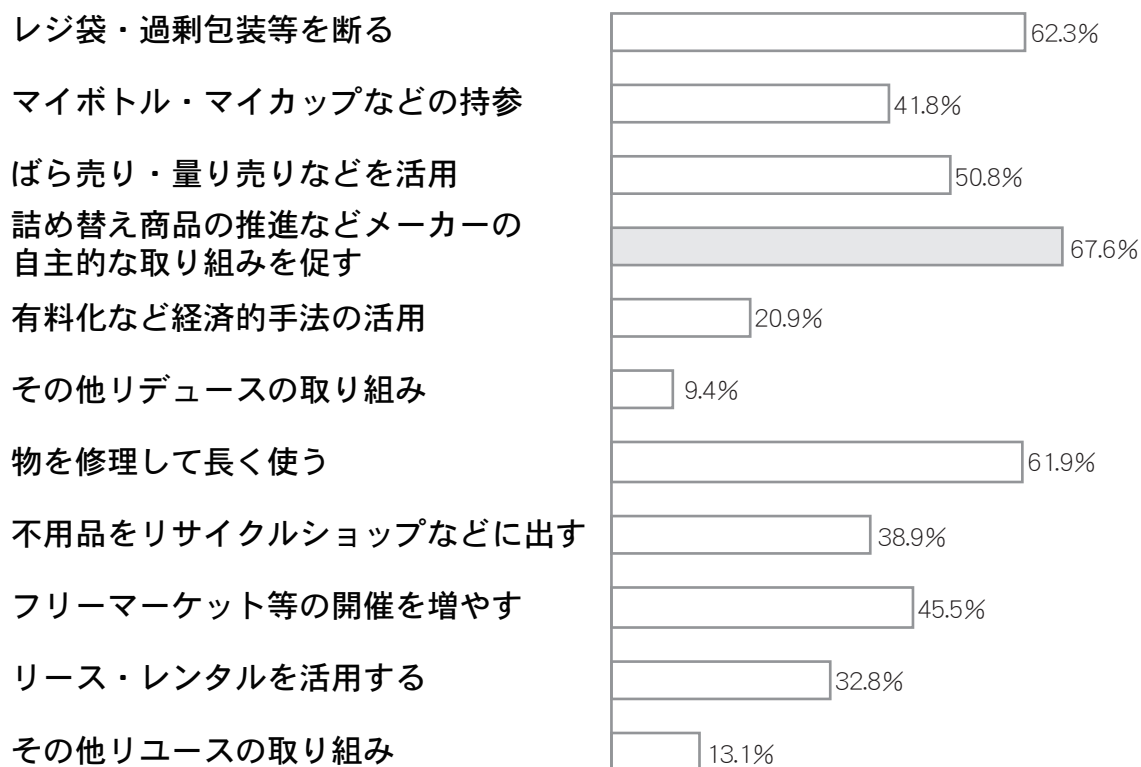


<その他の主な意見>

- ・古着・古布を出せる回数（月一回）が少ない。
- ・自分が着ていたものをリサイクルに出すのは抵抗がある。
- ・可燃で出すと楽。少量だと可燃にいれてしまう。
- ・集積場所に出しておく中身をあげられることがある。
- ・回収業者が持って行ってくれない、出すのを控えるように言われる。
- ・古着や古布がどのように利用されているかよく分からないから。
- ・古着などは、お店で引取りしてくれる所が増えている。
- ・歳をとると、細かい分類方法は出来なくなる。
- ・古着・古布を出す袋は、資源袋以外は非か問い合わせ有り。
- ・環境局等PR不足等。
- ・住民の高齢化が進み、リサイクルステーションまで持っていけない。

④ 2R（リデュース・リユース）の取り組みについて N=244

■さらなるごみ減量を推進するためには、「分別・リサイクル」にあわせ、「ごみも資源も元から減らす」発生抑制（リデュース）や再使用（リユース）」の取り組みも進める必要がありますが、そのためにはどのような取り組みが重要だと思いますか？（重要だと思われるもの全てに○をつけてください。）



＜その他（リデュースの取り組み）の主な意見＞

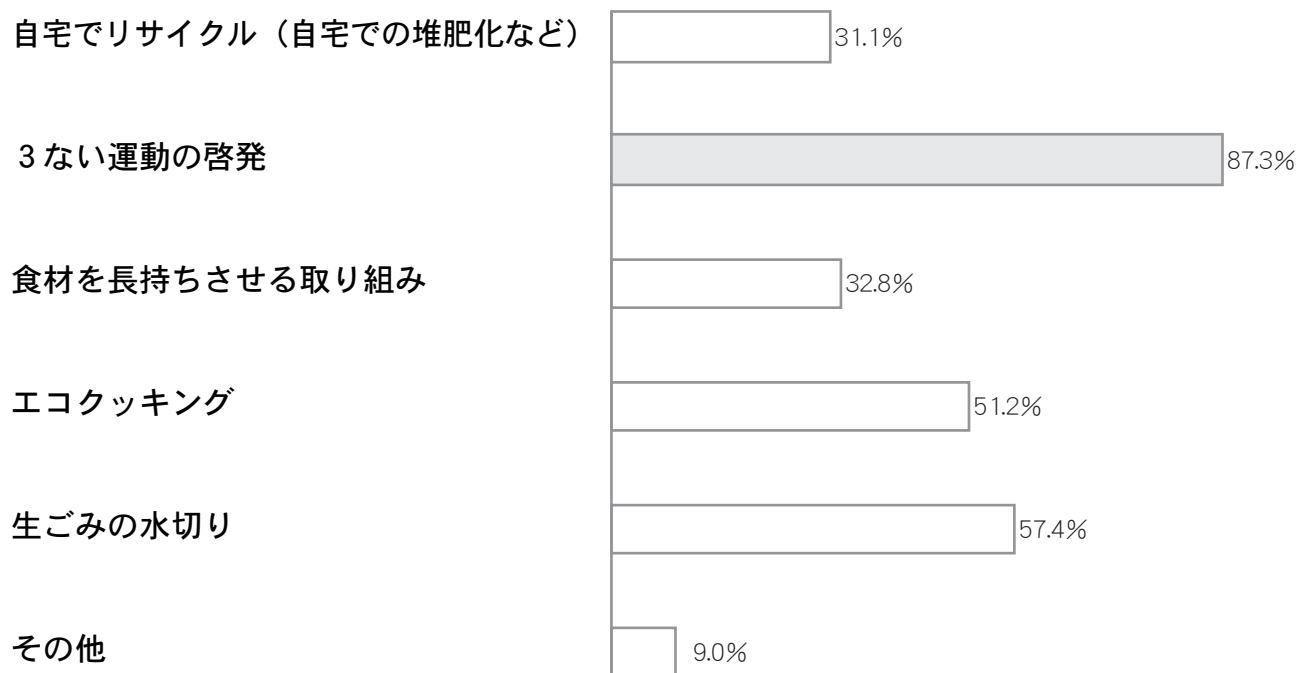
- ・メーカー側への指導、メーカーのリデュース意識。
- ・トレーに乗せずに、真空パックなどを用いて販売。
- ・空容器を持参すると、返金されるなどの制度。
- ・ポスティングチラシの規制。

＜その他（リユースの取り組み）の主な意見＞

- ・修理費用を安くする、部品の長期保管など、修理しやすい環境づくり。
- ・多少高価でも丈夫な製品を。
- ・販売店もさることながら、製造元にも協力を促す。
- ・環境バザー、フリーマーケットなどの開催情報の充実。
- ・子ども用品（洋服・ベビー用品・三輪車等）の交換会。
- ・粗大ごみで出る家具類の中には、修理しなくても使える家具がある。有効に活用すべき。

⑤生ごみの減量について N=244

■家庭から出される可燃ごみの約 1 / 3 は、生ごみが占めています。生ごみを減らすために、どのような取り組みが重要だと思いますか。（お考えに近いものに 3 つまで○をつけてください。）

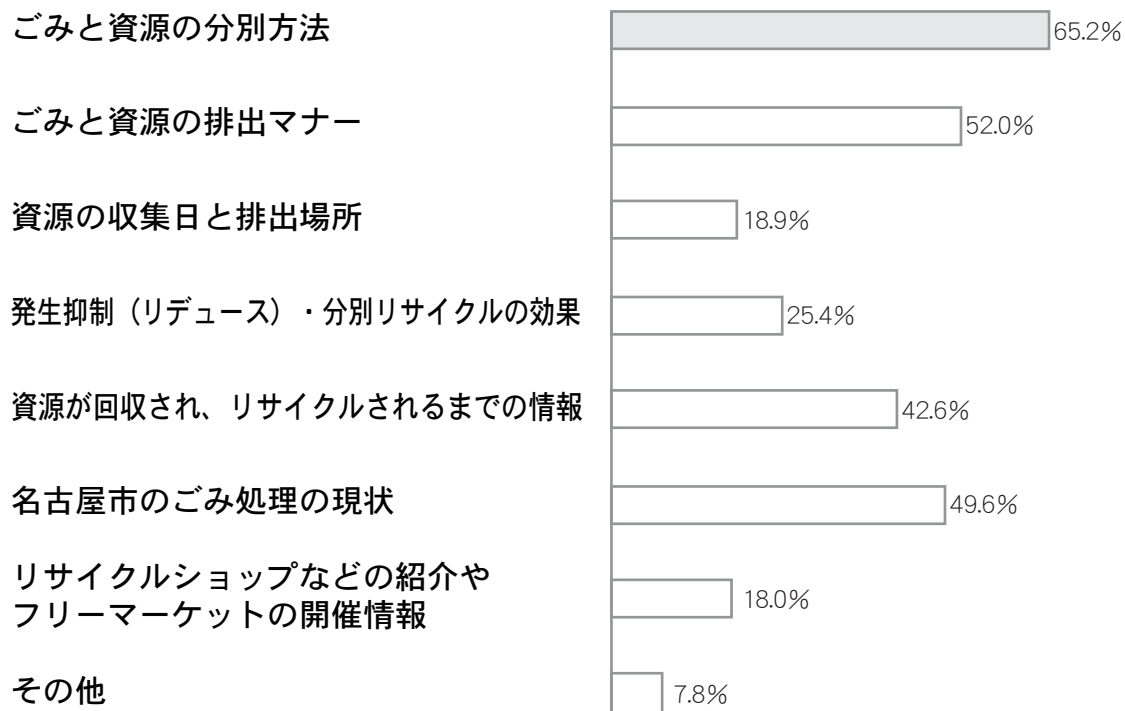


<その他の主な意見>

- ・食品の賞味期限を長くする。
- ・地域での堆肥化の取り組み。
- ・「デイスポザー」の普及を行政的に進める。
- ・低コスト・家庭ごみ処理機などの開発。
- ・1人用食材を売る。

⑥市民に提供する情報について N=244

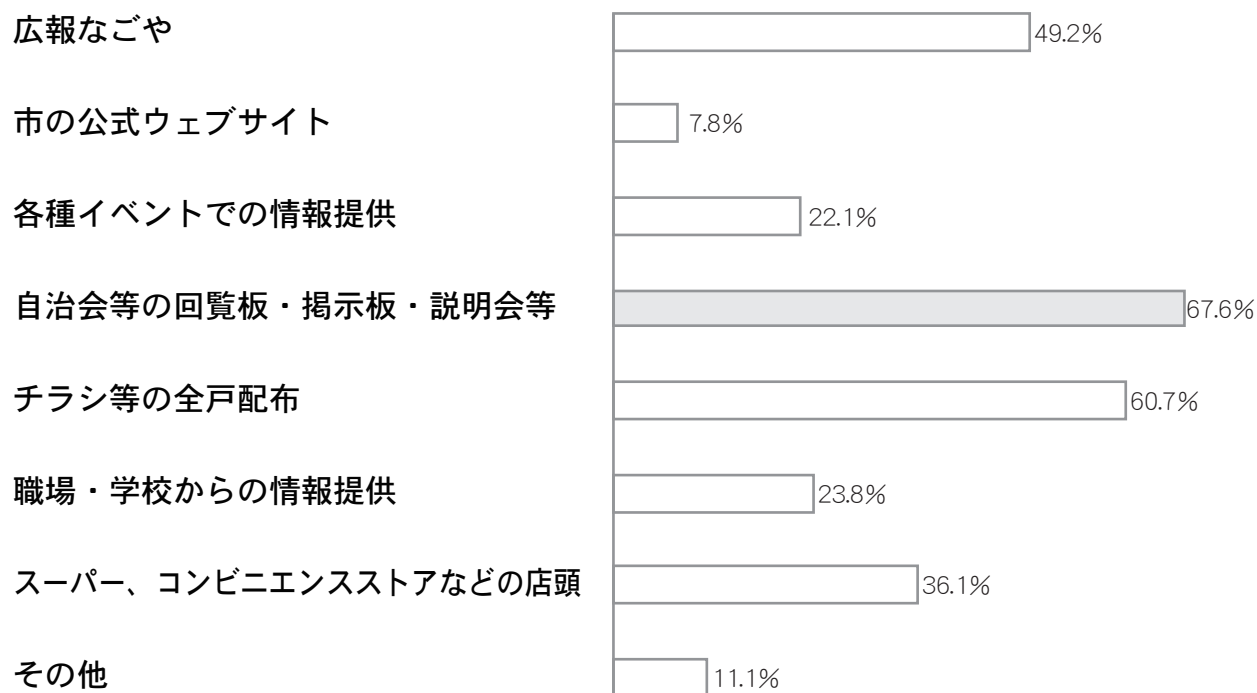
■ごみの減量、分別・リサイクルに取り組んでいただくために、市から市民の皆さんに提供する情報として、どのような情報が重要だと思われますか。（お考えに近いものに3つまで○をつけてください。）



＜その他の主な意見＞

- ・転居してきた方や海外の方などにも分かりやすい資料。
- ・処理場の見学。
- ・処理費は各自の税金によって支払っていることを知るべき。
- ・環境教育。

■ごみの減量、分別・リサイクルに取り組むにあたり、情報源として充実させた方がよいと思われるものは何ですか。（お考えに最も近いものに3つまで○をつけてください。）



＜その他の主な意見＞

- ・新聞・テレビで取り上げてもらう。
- ・対象（高齢者、外国人等）・居住形態（一戸建て、共同住宅）にも気を配った、分かりやすく、目で見えすぐに頭に入るようなチラシ。
- ・転入者への丁寧な説明。

⑦その他

○その他、日頃、地域でご苦労されている点や、市へのご要望などをお聞かせください。（自由記述）

＜資源とごみの分別について＞

- ・可燃ごみ、資源の袋に、分別品目以外のものが入っていることが多い。
- ・平成23年4月の分別区分変更の内容（「容器包装以外のプラスチック製品は可燃ごみ」「不燃ごみ収集は月1回」「プラスチック製容器包装は各戸収集」）に関する広報の徹底が必要。
- ・分別を守っている人も多いが、全く分別されていない袋も多くあり、これらの排出者に対する啓発が難しい。
- ・古着・古布のリサイクルはまだ市民に理解されていないので、もっと周知・説明が必要。
- ・紙・プラ製容器包装について、資源として出しても問題ない汚れの基準が分かりにくい。
- ・製品に2種類の容器包装の表示があると、どちらに出してよいか分からず、ごみとして出される可能性がある。分かりやすく改善すべき。
- ・他都市においては、分別違反者に対する過料や、ごみの中身のチェックなどが実施されている。ルール違反者にはしかるべき対応が必要。
- ・名古屋市は分別が多すぎる。簡素化したほうがよい。

＜排出マナーについて＞

- ・資源の収集後（収集時間外）に、ステーションに排出する人がいて困っている。
- ・各戸収集のごみやプラスチック製容器包装が、ステーションに出されて困っている。
- ・空きびん（または空き缶）のかごの中に、空きびん以外のガラス製品を入れる、ふた付きで入れる、袋に入れたまま入れるなどの事例が多く困っている。
- ・ペットボトルのふたが付いたまま出される、缶やペットボトルの中にタバコの吸い殻などが入れられる事例が多く困っている。
- ・発火性危険物の収集方法が徹底されていない。穴あけルールについて、早期に決定を。

＜集合住宅、単身者、外国人、高齢者、転入者などの対策について＞

- ・アパート、ワンルームマンションの住人で若い世代の分別意識が低い。オーナー及び管理者が責任を持って居住者に説明し適切に管理できるよう、周知徹底・指導すべき。
- ・転入者がごみの出し方を知らない。住民票提出の際に十分説明してほしい。
- ・転出者が不用品を分別せずに大量に出す。ルールの徹底をしてほしい。
- ・外国人や高齢者の一人暮らしの方は、説明しても分かってもらえない。
- ・特にアパート、（ワンルーム）マンションの住人で若い世代の分別意識が薄い。

＜資源ステーションの管理等について＞

- ・毎週、未分別のごみを保健環境委員が分別し直している。
- ・清掃・整理など、ステーションの維持管理に苦労している（町内当番制を行っているところもあり）。
- ・ステーションの看板が劣化し表示が見えないところが多い。定期的な取り替えをお願いしたい。
- ・住宅の密集化によりステーションの設置が難しくなっている。ステーションの減少がトラブルの元になっている。改善できないか。
- ・空き缶を持ち去るホームレスや業者が後を絶たない。ステーションを散らかしていくので、対策を望む。
- ・カラス、猫による被害に困っている。ネット等の対策が必要。

＜不法投棄・ポイ捨てについて＞

- ・不法投棄・ポイ捨てに大変困っている。不法投棄をした人の名が分かったときは、注意だけで済まらず、少額でも良いから罰金を取るようにすること。

＜2Rについて＞

- ・レジ袋は、無料だと安易に要求する人が多い。有料化店舗でのレジ袋は減ったが、無料配布の店舗や無料のポリ袋は、減っていないのではないか。
- ・「マイバッグ持参運動」を進める際には、万引きの増加に繋がらぬよう注意すべき。
- ・マイボトルを持参して購入した場合、ポイントがたまる制度が出来ないか。
- ・行政がリサイクルショップとのパイプ役をしてくれるとありがたい。行政からの紹介なら安心感がある。
- ・ごみ・資源を元から減らす取り組みは、企業が率先して進めるべき。

＜環境教育について＞

- ・幼稚園、保育園、小学生のうちに、ごみの分別・マナーをしっかり伝えることが必要。

＜広報について＞

- ・分別ガイド等の全戸配布をしてほしい。
- ・地元の集会などに出向き、ごみ減量・分別についての説明・協力依頼などを行いながら、併せて地元の意見や要望を聴く機会を設定してはどうか。
- ・資源・ごみ分別アプリについて、特に若者に対してもっとPRすべき。
- ・広報なごやで、四半期に1回、1ページを使って大々的に広報してはどうか。
- ・3Rについてテレビや町内の掲示板を活用した広報をしてはどうか。
- ・なぜ分別が必要なのか、リサイクルされて何に再商品化されるか、埋立処分場の残余年数の現状など、今までとは違うアピールの仕方での広報が必要。

＜市の収集作業等について＞

- ・収集時間をできるだけ一定にしてほしい。ステーションの後片付けに困るので、各品目を出来るだけ同じ時間に収集するようにしてほしい。
- ・不法投棄防止のため、空きびん（又は空き缶）のかごは伏せて設置してほしい。
- ・ステーションにおいて分別されていない袋を取り残すのは、あまり意味がないのではないか。
- ・可燃ごみ、不燃ごみで分別されていない袋は、取り残しなどの対策をもっと厳しく行うべき。
- ・資源は当面、半透明・透明袋でもよいことになっているが、資源袋に統一してほしい。
- ・資源ステーションによる分別をやめ、全て各戸回収とする。
- ・家庭ごみ処理の有料化など経済的手法の活用を検討する。

＜保健環境委員制度について＞

- ・任期終了後の後任がなかなか決まらないことに悩んでいる。
- ・地域の皆さまが一度は委員になり、環境に関する意識を高めることが重要だと思う。
- ・保健環境委員の社会的なイメージを高めていくことが必要。
- ・「費用弁償があるのだから仕事をやるのが当然」と思われるのがつらい。また、報酬額も少ないと思う。

3 事業者アンケート実施結果

(1) アンケートの概要

項 目	内 容
目 的	第5次一般廃棄物処理基本計画策定に向け、中小企業の事業系一般廃棄物の排出実態を把握
調査対象業種 及び抽出数	1,000事業所 ・建設業 従業員数300人以下の事業所 72事業所 ・製造業 従業員数300人以下の事業所 93事業所 ・情報通信業 従業員数300人以下の事業所 20事業所 ・運輸業、郵便業 従業員数300人以下の事業所 19事業所 ・卸売業 従業員数100人以下の事業所 114事業所 ・小売業 従業員数 50人以下の事業所 155事業所 ・金融業、保険業 従業員数300人以下の事業所 18事業所 ・不動産業、物品賃貸業 従業員数300人以下の事業所 69事業所 ・学術研究、専門・技術サービス業 従業員数100人以下の事業所 56事業所 ・宿泊業、飲食サービス業 従業員数100人以下の事業所 150事業所 ・生活関連サービス業、娯楽業 従業員数100人以下の事業所 78事業所 ・教育、学習支援業 従業員数300人以下の事業所 31事業所 ・医療・福祉 従業員数300人以下の事業所 61事業所 ・複合サービス業 従業員数100人以下の事業所 3事業所 ・サービス業(他に分類されないもの) 従業員数100人以下の事業所 61事業所
対 象 地 域	名古屋市内
調 査 方 法	全業種とも無作為抽出とする
調 査 期 間	平成27年6月24日(水)～平成27年7月8日(水)
回 収 状 況	配布数: 1,000事業所 有効回収数: 327 有効回収率: 32.7%

(2) 標本構成

事業形態						
	オフィス 118	小売店舗 54	飲食店 37	病院・ 福祉施設 21	工場 35	その他 47

学校1
ホテル・旅館1
文化・娯楽施設4
不明9

ビル等入居形態	テナントとしてビル等に入居 125	自社の建物または単独で建物を賃借 160	不明 42
---------	----------------------	-------------------------	----------

延べ床面積について	分かる 173	分からない 128	不明 26
-----------	------------	--------------	----------

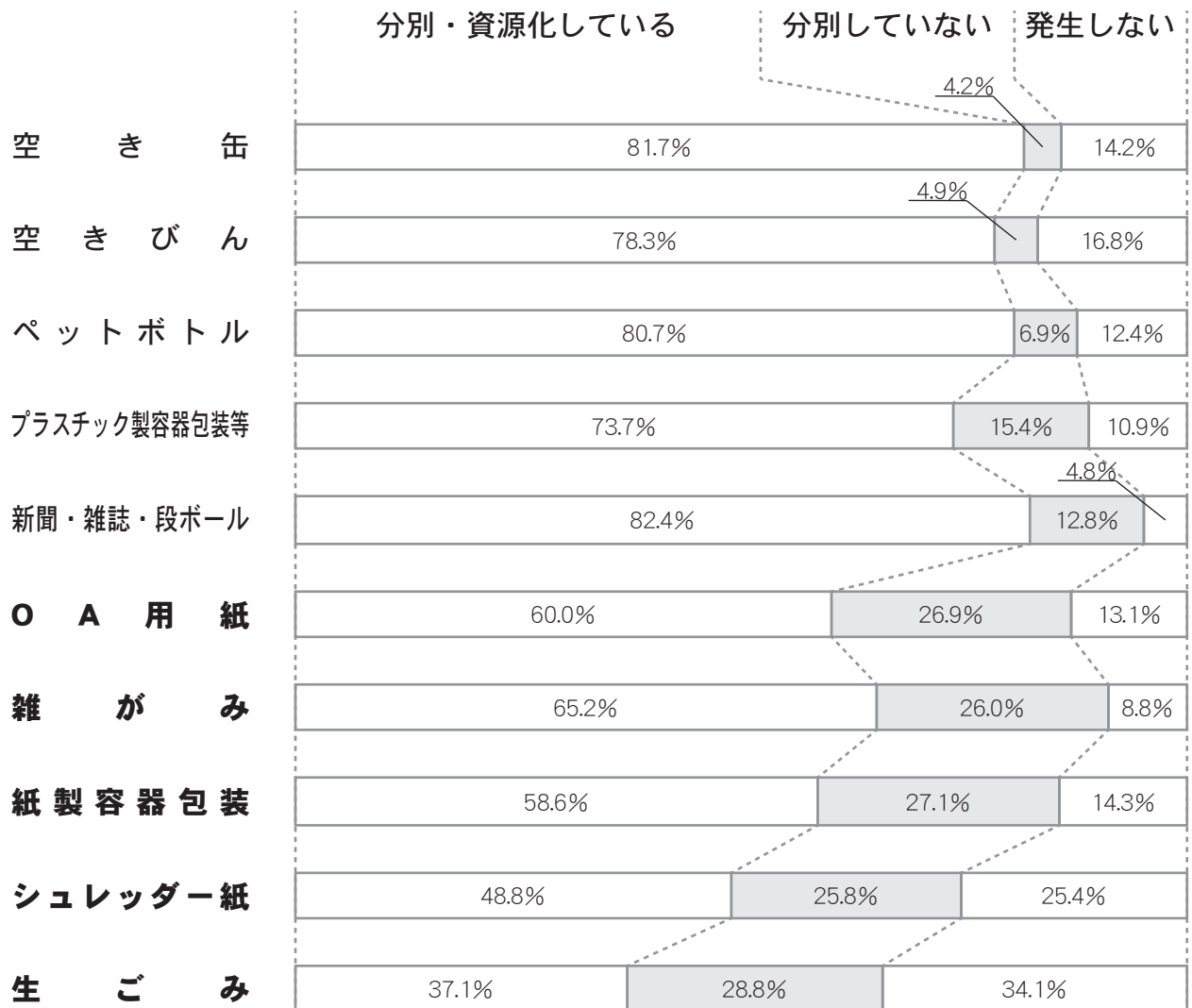
延べ床面積					
	～100㎡未満 81	100㎡以上300㎡未満 50	300㎡以上 ～500㎡未満 17	500㎡以上～1000㎡未満 9	1000㎡以上～3000㎡未満 7

3000㎡以上 9

従業員数					
	0人 7	1人から29人 276	30人～99人 22	100人～299人 1	300人～999人 2

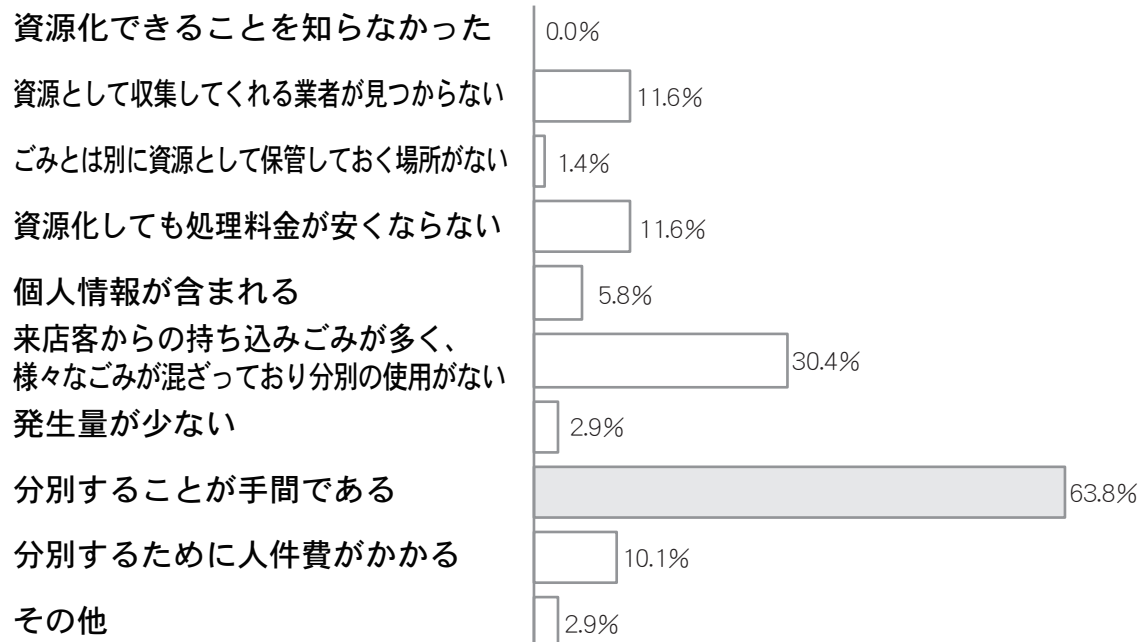
1000人以上 1

①ごみ・資源の分別状況について N=327

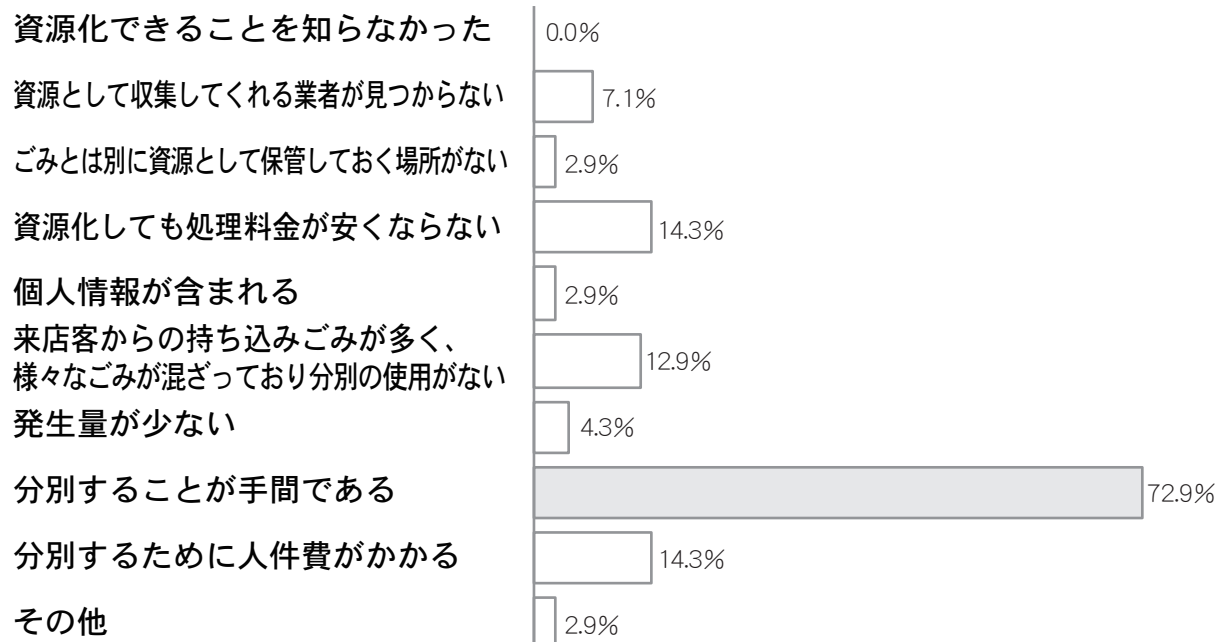


②古紙類について分別していない理由

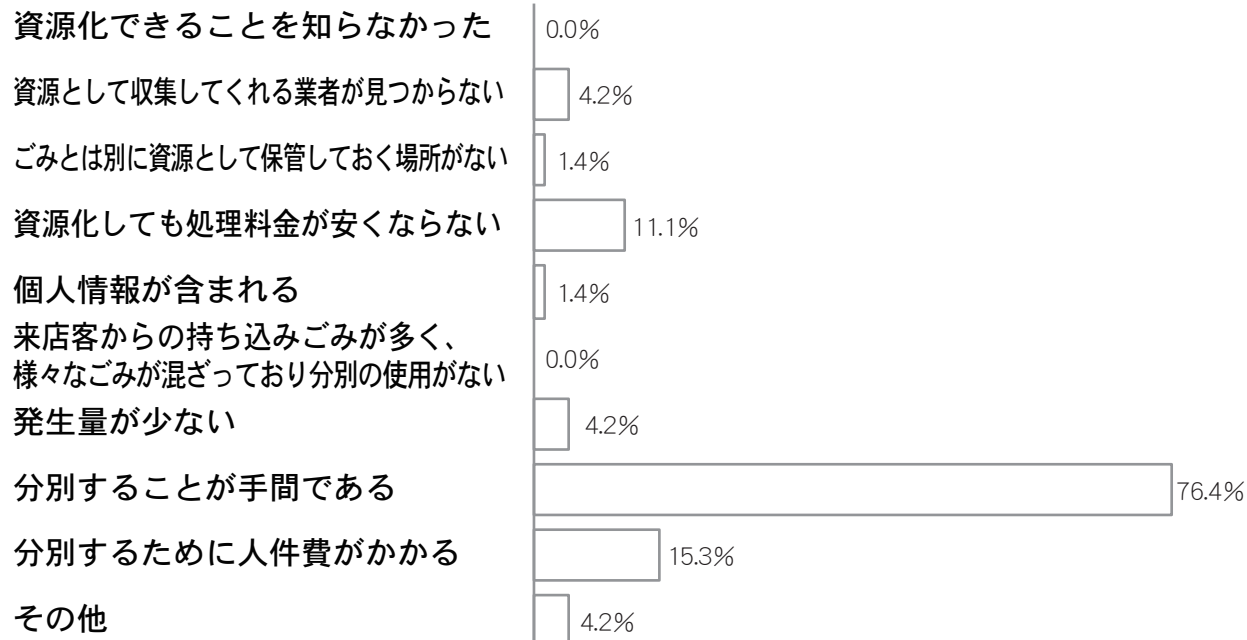
＜OA用紙＞ N=69



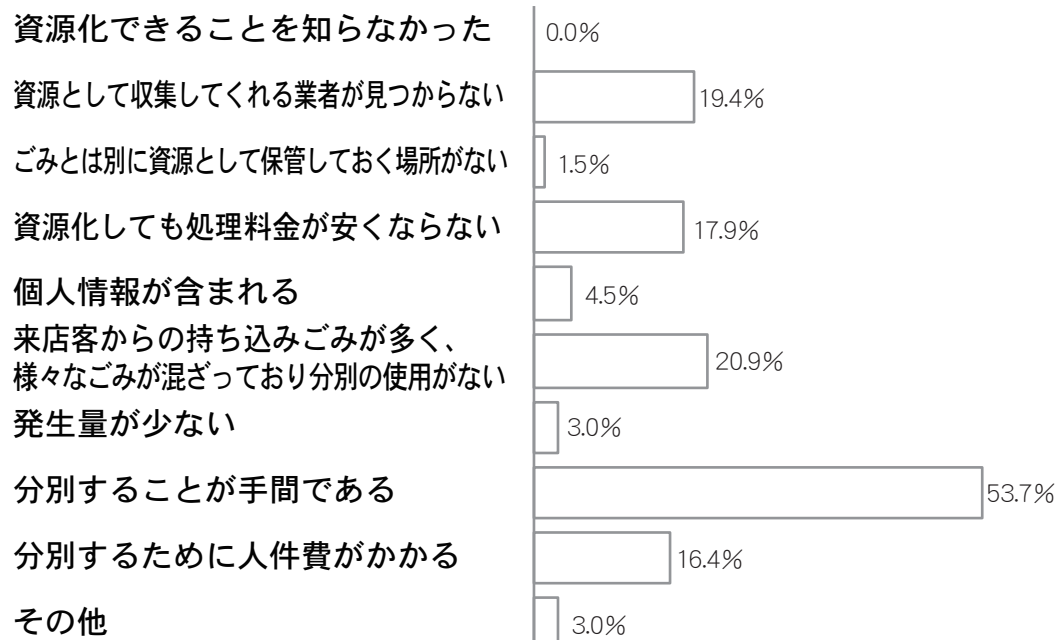
＜雑がみ＞ N=70



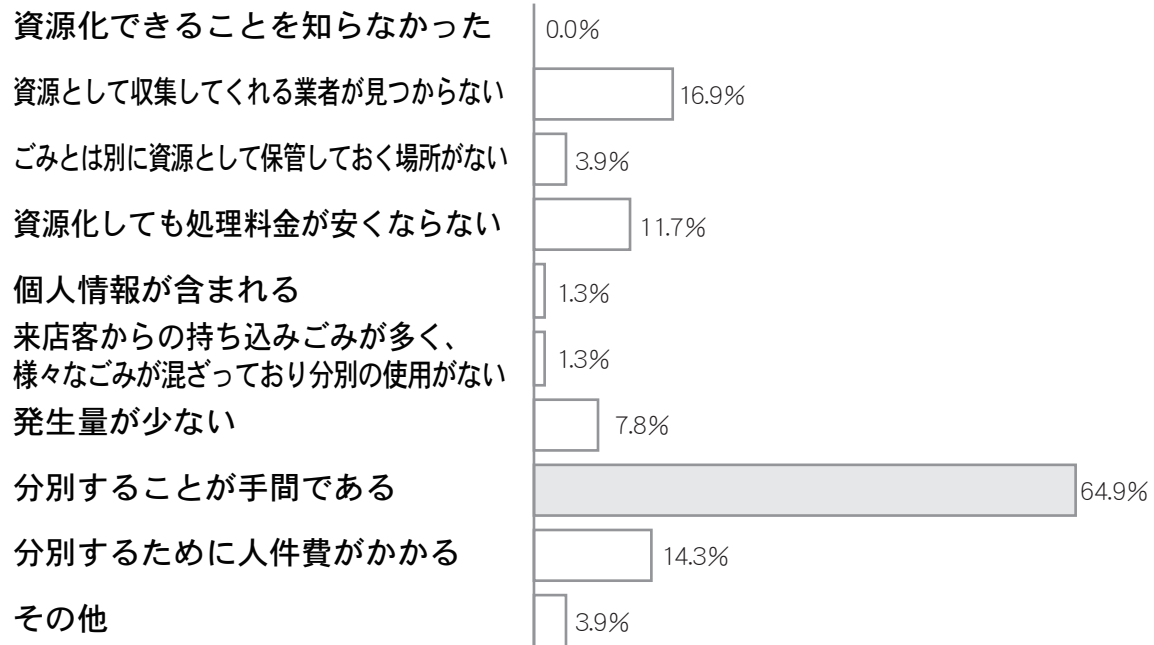
＜紙製容器包装＞ N=72



＜シュレッダー紙＞ N=67

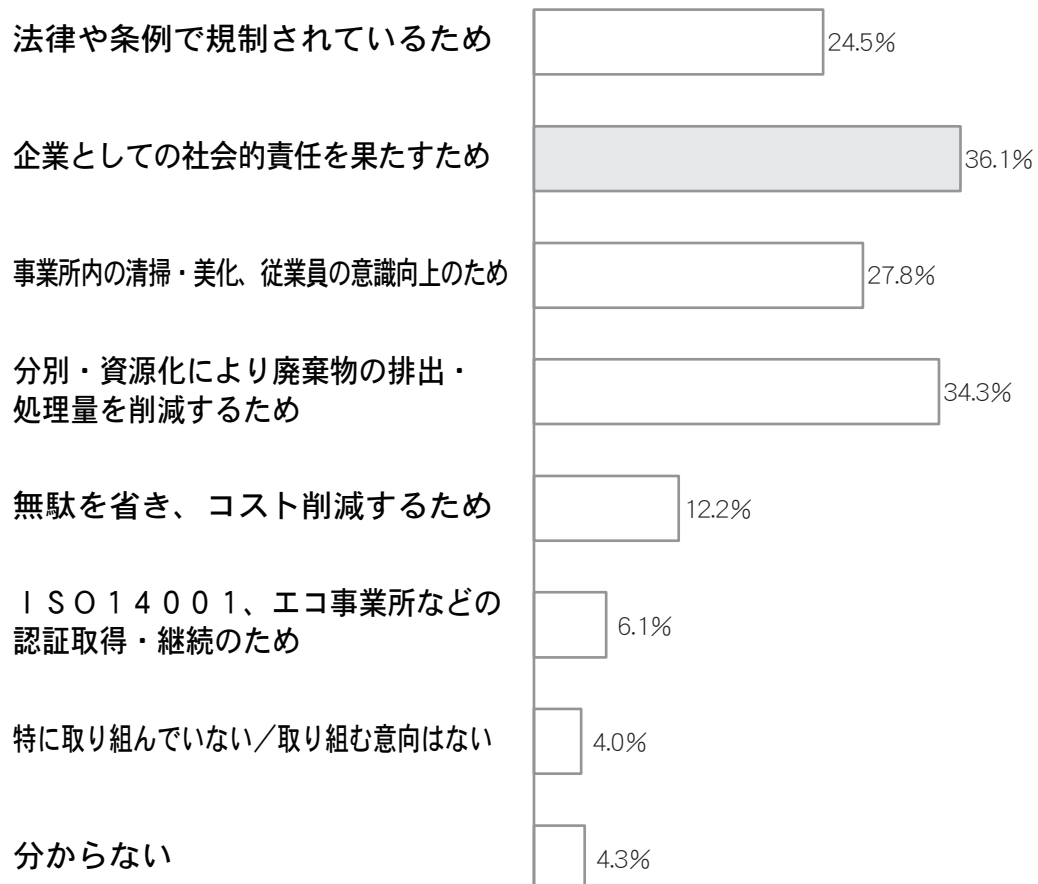


③生ごみについて分別していない理由 N=77



④ごみの減量・資源化の動機・方策 N=327

■あなたの事業所が、ごみ減量・資源化に取り組んでいる理由は何ですか？
(該当すると思われるもの2つまでに○)



■事業者が、さらなるごみ減量や資源化に取り組んでいくために有効と思われる方策は何ですか？
（重要と思われるもの3つまでに○）

